

2005年7月25日

## 機構改革のお知らせ

参天製薬株式会社

以下のとおり2005年9月1日付、薬粧事業部の機構改革を行いますので、お知らせします。

### **機構改革**

発令日:2005年9月1日

#### 1.改革の背景・目的

参天製薬は眼科とリウマチ/骨・関節疾患領域に特化した医薬品メーカーとして、医療用医薬品事業と一般用医薬品事業(薬粧事業)の分野で人々の目とからだの健康維持・増進に貢献するべく活動しています。

一般用医薬品市場は全般に縮小傾向にあります。目薬(アイケア)領域は数少ない成長市場であり、高齢化の進展やセルフメディケーションの浸透などにより将来的にも成長が見込まれます。

このような環境下、当社は眼科薬トップメーカーとしての強みを生かした製品・企画力をもって、医療用医薬品事業とともに薬粧事業を継続・発展させ、より多くの人々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の向上に寄与するアイケア製品を提供していきたいと考えています。

そのため、2004年1月以来、薬粧事業部ではコスト構造分析プロジェクトを発足させ、コスト構造の分析とその結果に基づく流通在庫の適正化や販売費の効率化など、事業収益向上のための改革を実施してきました。

この度、これまでの薬粧事業部の改革をさらに加速し、以下の体制で薬粧事業基盤の再構築を行います。

#### 1) 本部組織の企画・提案力の強化

事業部の戦略立案・実行力や製品企画・新製品開発力、営業支援機能などを強化します。そのため、「薬粧企画室」「製品企画室」「営業企画室」の3つの企画室を本部組織として新たに設置します。また、消費者・顧客の声をいち早く製品・企画に反映できるよう、一般用目薬の国内最大市場である東京に本部組織を移します。

#### 2) 営業効率の向上

IT(情報技術)を活用した販売促進支援システム導入、本部組織と営業組織の事業部内連携強化・コミュニケーション円滑化など、効率的かつ高付加価値提案のできる営業体制へとシフトしていきます。これに伴い、営業組織を見直し、事業規模に応じた営業拠点(オフィス)および人員の適正化を図るため、各拠点オフィスを従来の7オフィスから3オフィスへ再編するとともに、約80名の事業部員を約60名に削減します。

#### 2.機構変更

- マーケティンググループならびに営業統括部業務グループを再編し、「薬粧企画室」「製品企画室」「営業企画室」を新設します。

以上